

資料 1－5

2019 年 1 月

エリアンツス アルン ディナセウス種 (案)

Sweetcane

(*Erianthus arundinaceus* (Retz.) Jeswiet.)

エリアンツス アルンディナセウス種審査基準

I. 審査基準の対象(Subject of these Guidelines)

この審査基準は、イネ科(Poaceae) エリアンツス属(*Erianthus Michx.*)のアルンディナセウス種(*E.arundinaceus* (Retz.) Jeswiet.(Synonym of *Saccharum arundinaceum* (Retz.))の全ての品種に適用する。

II. 提出種苗(Material Required)

- i) 種苗の形態 種子または1年生株分け苗
- ii) 提出時期 審査当局が指定する時期
- iii) 数量 種子繁殖性品種の場合 1,000粒
栄養繁殖性品種の場合 50個体
種子は、発芽率、純潔率、水分含量等保存に適したものであること。
- iv) 提出する種苗は、重要な病害虫に汚染されていない十分に健全なものであること。
- v) 提出種苗は審査当局が指示した場合を除き薬剤、その他の処理をしていないものであること。もし、処理が行われている場合はその処理の詳細について記載すること。

III. 試験の実施(Conduct of Tests)

- i) 栽培条件 特性の確認が十分にできる正常な生育が可能な条件下で実施する。
- ii) 最低供試個体数 種子繁殖性品種の場合 64個体(2区以上に分割)
栄養繁殖性品種の場合 24個体(2区以上に分割)
- iii) 栽培期間 1生育周期(定植から翌年の出穂期とする。)
- iv) 調査方法
調査個体数 特に指示がない限り、種子繁殖性品種の場合は、植物体60個体又は各個体から採取した部分60個、栄養繁殖性品種の場合は、植物体20個体又は各個体から採取した部分20個について調査する。
均一性は供試した全ての個体で判定する。
調査時期 特に指示がない限り、ほ場へのは種又は定植して2年目の最大に生育した時期(多くの出穂茎で穂の上から開花が始まって、下まで咲ききった時期)に行う。ただし、出穂が見られない品種の場合には、生育盛期を過ぎた晩夏～秋の葉の傷んでいない時期に行う。
- v) 特別な試験 特別な条件下でのみ発現する特性があり、出願者が試験方法を添えて申告し、審査当局がそれに同意した場合は特別な栽培試験を実施することがある。

IV. 判定基準(Standards for decisions)

判定は、登録出願品種審査要領の区別性、均一性及び安定性(DUS) 審査のための一般基準に基づくものとする。

種子繁殖性品種の均一性の判定は、他家受精品種の基準を適用し、許容される混入異型個体数は、同一の種類に属する既存品種の変異の幅との相対比較により判定する。

V. グループ分けに使用する形質(Grouping of Varieties)

- i) 倍数性 (形質 1)
- ii) 草型 (形質 3)
- iii) 出穂期 (形質 4)

VI. 特性表で使用する記号の説明 (Legend)

G: グループ分けに使用する形質

(*): 品種記載の国際調和のための必須調査形質

QL: 質的形質

QN: 量的形質

PQ: 擬似の質的形質

(+): VIIIに特性表の説明図等を示す

MG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として測定記録

MS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の測定記録

VG: 植物体あるいは植物体の一部を集団として観察記録

VS: 植物体あるいは植物体の一部の個々の観察記録

C: 特殊検定

網掛け (特性表のピンク色の部分): 願書に添付する説明書 (種苗法施行規則第 7 条、別記様式第 2 号) に出願者が記載する特性及び階級値

状態区分

質的形質及び擬似の質的形質の場合、全ての状態が特性表に記載してある。しかし、5 階級以上の状態がある量的形質の場合、省略した状態が用いられることがある。例えば、9 階級の状態による量的形質の場合、審査基準の状態は、以下のとおりに略されることがある。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
小	small	3
中	medium	5
大	large	7

しかし、以下の9階級の状態を品種の記述として使用できるが、その場合には適切に使用するよう留意する。

状態 (State)		階級 (Note)
(日本語)	(English)	
極小	very small	1
かなり小	very small to small	2
小	small	3
やや小	small to medium	4
中	medium	5
やや大	medium to large	6
大	large	7
かなり大	large to very large	8
極大	very large	9

VII. 特性表(Table of Characteristics)

形質番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
1		QL (+) G	倍数性	Plant: ploidy	倍数性	検定 MG	2 4 6	二倍体 四倍体 六倍体	diploid tetraploid hexaploid	KO2 立、 KO2 立系	
2		QN	越冬後の初期生育	Plant: early growth after overwintering	越冬後のほう芽 1 月後の草丈	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	KO2 立	
3		QN (+) G	草型	Plant: type	生育盛期から出穂直前の草型	観察 VS	1 3 5 7 9	立 半立 中間 半開張 開張	erect semi-erect medium semi-prostrate prostrate	KO2 立、 KO2 立系	
4		QN (+) G	出穂期	Plant: time of inflorescence emergence	定植 2 年目の出穂する時期 の早晩	測定 月日 MS	1 2 3 4 5 6 7 8 9	極早 かなり早 早 やや早 中 やや晩 晩 かなり晩 極晩	very early very early to early early early to medium medium medium to late late late to very late very late	KO2 立 KO2 立系	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
5		QN	草丈	Plant: length	地際から穂先までの長さ (未出穂個体では地際から 植物体の最頂部までの長 さ)。	測定 cm MS	3 5 7	低 中 高	short medium tall	KO2 立、 KO2 立系	
6		QN (+)	最長稈の長さ (未出穂品種を 除く。)	Plant: length of longest culm, inflorescence excluded	最長稈（地表面から穂の基 部まで）の長さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	KO2 立	
7		QN	最長稈の太さ	Culm: thickness	最長稈（未出穂品種では最 長茎）の基部から 1/3～中間 部の節間中央部の長径	測定 mm MS	3 5 7	細 中 太	thin medium thick	KO2 立、 KO2 立系	
8		QN	出穂期の茎の多 少	Plant: number of stems at the time of inflorescence emergence	株当たりの茎の多少	観察/ 測定 VS/M S	3 5 7	少 中 多	few medium many	KO2 立	
9		QL	葉しょうの毛	Leaf sheath: hairs	葉しょうの毛の多少	観察 VS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very few few medium many very many	KO2 立 KO2 立系	

形質 番号	U P O V No.	記 号	形 質 (Characteristics)		定 義	調査 方法	階 級	状 態 (State)		標準品種 (Ex.Var.)	備 考
			(日本語)	(English)				(日本語)	(English)		
10		QL (+)	葉しょうのろう 質	Leaf sheath: wax	葉しょうのろう質の多少	観察 VS	1 3 5 7 9	無又は極少 少 中 多 極多	absent or very weak weak medium strong very strong	KO2 立、 KO2 立系	
11		QN	葉身の長さ	Leaf blade: length	最長稈（未出穂品種では最 長茎）の完全展開した上位 3～4 葉のうちの最長葉の長 さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	KO2 立、 KO2 立系	
12		QN	葉身の幅	Leaf blade: width	最長稈（未出穂品種では最 長茎）の完全展開した上位 3～4 葉のうちの最長葉の幅	測定 mm MS	3 5 7	狭 中 広	narrow medium broad	KO2 立、 KO2 立系	
13		QN	穂の多少	Plant: number of panicles	株当たりの穂の多少	測定 MS	3 5 7	少 中 多	few medium many		
14		QN (+)	穂の長さ	Panicle: length	穂首から穂の先端までの長 さ	測定 cm MS	3 5 7	短 中 長	short medium long	KO2 立	

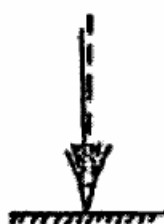
*KO2 立は栄養繁殖性品種、KO2 立系は種子繁殖性品種である。

VIII. 特性表の説明(Explanations on the Table of Characteristics)

形質 1 倍数性 Char.1 Plant: ploidy

倍数性は、フローサイトメトリーを用いた測定法、通常の細胞学的方法等により判定する。

形質 3 草型 Char.3 Plant: habit



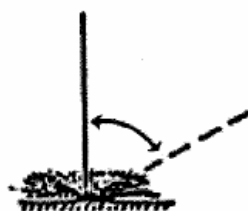
1
立
erect



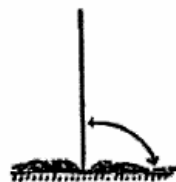
3
半立
semi-erect



5
中間
medium



7
半開張
semi-prostrate



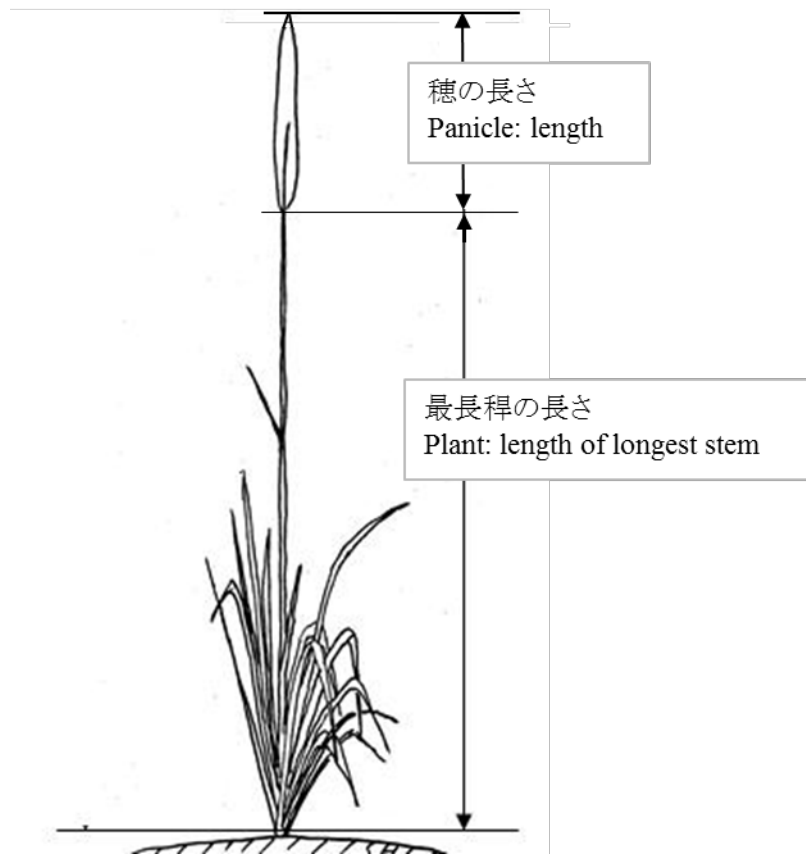
9
開張
prostrate

形質 4 出穂期 Char.4 Plant: time of inflorescence emergence

穂が止め葉から見えた時期を出穂と判断し、個体あたり最初に出穂が確認された日の平均値を出穂期とする。

形質 6 最長稈の長さ（未出穂品種を除く。） Char.6 Plant: length of longest stem

形質 14 穂の長さ Char.14 Panicle: length



形質 10 葉しよのろう質 Char.10 Leaf sheath: wax

葉しよのろう質は外側の葉しよを取り除き、内側の葉しよを観察する。